

2014. 9. 9	支援者会議	就労支援、情報提供	就労移行支援事業所、北大病院	サービス管理責任者、職業指導員、支援コーディネーター
2014. 9. 10	カンファレンス	就労支援、情報提供	就労継続支援 B 型事業所、就業・生活相談室、北大病院	本人、相談支援専門員、サービス管理責任者、支援コーディネーター
2014. 9. 14	カンファレンス	就労支援、情報提供	就業・生活支援センター、北大病院	本人、就労支援員、作業療法士、支援コーディネーター
2014. 9. 24	カンファレンス	就労支援、情報提供	地域活動支援センター、相談室、就業・生活支援センター、ハローワーク、北大病院	本人、家族、就労支援員、生活支援員、職業カウンセラー、支援コーディネーター
2014. 10. 8	カンファレンス	就学支援、就労支援	学校、北大病院	本人、家族、担任、特別支援教育コーディネーター、支援コーディネーター
2014. 10. 15	カンファレンス	就労支援	障害者職業センター、北大病院	本人、ジョブコーチ、職業カウンセラー、支援コーディネーター
2014. 11. 21	カンファレンス	生活支援、就労支援、情報提供	札幌市相談支援事業所、北大病院	本人、家族、相談支援専門員、支援コーディネーター
2014. 12. 8	支援者会議	生活支援、情報提供	居宅介護支援事業所、北大病院	家族、ケアマネジャー、作業療法士、支援コーディネーター
2014. 12. 9	支援者会議	生活支援、就労支援	就労先、北大病院	家族、職場上司、支援コーディネーター

2014. 2. 17	支援者会議	生活支援、就労支援、	グループホーム、就労 継続支援 B 型、札幌 市相談支援事業所、北 大病院	相談支援専門員、サー ビス管理責任者、グル ープホーム世話人、職 場上司、支援コーディ ネーター
2014. 2. 27	カンファレンス	生活支援、就労支援	グループホーム、就労 継続支援 B 型、札幌 市相談支援事業所、北 大病院	本人、家族、相談支援 専門員、サービス管理 責任者、グループホー ム世話人、職場上司、 支援コーディネーター
2014. 3. 10	カンファレンス	就労支援	障害者職業センター、 北大病院	本人、ジョブコーチ、 職業カウンセラー、支 援コーディネーター
2014. 3. 12	カンファレンス	生活支援、就労支援	札幌市相談支援事業 所、居宅介護支援事業 所、北大病院	本人、ヘルパー、相談 支援専門員、作業療法 士、支援コーディネー ター
2014. 3. 17	支援者会議	就労支援	就業・生活支援センタ ー、担当弁護士事務 所、北大病院	就労支援員、作業療法 士、支援コーディネー ター、弁護士事務所職 員
2014. 3. 20	支援者会議	生活支援	サービス支援住宅、札 幌市相談支援事業所、 訪問看護事業所、北大 病院	相談支援専門員、看護 師、支援住宅世話人、 支援コーディネーター

2014. 3. 25	支援者会議	就労支援	就労移行支援事業所、 障害者職業センター、 北大病院	家族、サービス管理責 任者、就労支援員、職 業カウンセラー、支援 コーディネーター
-------------	-------	------	----------------------------------	--

5. 【その他】

<院内での取組>

高次脳機能障害ワーキンググループ：毎月1回(4.21、5.19、6.16、7.28、8.18、9.8、10.20、
11.17、12.15)

(参加者：リハビリテーション科医師、看護師、リハビリテーション部セラピスト、ソーシャルワーカー)

1. 支援実績

(1) 同行・面談

クラブハウス			
年月日	当事者名	行き先	参加者
H26.4.25	I.H.氏	D社（面接同行）	本人、スタッフ、D社採用担当
H26.5.15	K.D.氏	障害者職業センター	本人、スタッフ、職業カウンセラー
H26.5.20	K.A.氏	就業・生活相談室から びな	本人、スタッフ、からびなスタッフ
H26.5.22	I.H.氏	ハローワーク札幌東	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.5.29	M.D.氏	A病院（受診同行）	本人、スタッフ、医師、家族
H26.6.2	I.H.氏	D社（ガイダンス）	本人、スタッフ、D社採用担当
H26.6.3	K.A.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口スタッフ、からびなスタッフ
H26.6.12	K.D.氏	当事業所（職業センター 振り返り）	本人、スタッフ、M相談室スタッフ、職業カウンセラー
H26.7.8	M.D.氏	障害者職業センター	本人、スタッフ、職業カウンセラー
H26.7.22	I.H.氏	D社訪問	本人、スタッフ、D社採用担当
H26.7.30	K.A.氏	H社見学	本人、スタッフ、からびなスタッフ
H26.8.12	K.D.氏	職業センター	本人、スタッフ、M相談室スタッフ、職業カウンセラー
H26.8.18	K.A.氏	ハローワーク北	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.8.21	M.D.氏	職業センター	本人、スタッフ、職業カウンセラー
H26.8.22	I.H.氏	D社訪問	本人、スタッフ、ハローワーク東窓口スタッフ、D社採用担当
H26.9.9	M.D.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.9.12	K.D.氏	当事業所	本人、スタッフ、M相談室スタッフ
H26.9.22	K.A.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.10.1	K.A.氏	K社見学	本人、スタッフ、からびなスタッフ、K社担当
H26.10.10	M.D.氏	就業・生活支援センター たすく	本人、スタッフ、たすくスタッフ
H26.10.14	K.D.氏	相談室みなみ	本人、スタッフ、グループホームスタッフ、母、A事業所、M相談室スタッフ
H26.10.15	F.R.氏	ハローワーク札幌東	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.10.16	K.A.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.10.20	M.D.氏	当事業所（就職相談）	本人、スタッフ、たすくスタッフ
H26.10.28		障害者集団面接会	メンバー3名、スタッフ2名
H26.11.5	K.A.氏	K社実習打ち合わせ	スタッフ、からびなスタッフ、K社担当
H26.11.10	K.A.氏	K社訪問	本人、スタッフ、からびなスタッフ、K社担当
H26.11.11	K.A.氏	K社訪問	本人、スタッフ、からびなスタッフ、K社担当

H26.11.13	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.11.14	K.A.氏	K社訪問	本人、スタッフ、からびなスタッフ、K社担当
H26.11.14	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.11.18	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.11.19	K.A.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、からびなスタッフ、窓口スタッフ
H26.11.20	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.11.21	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.11.25	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.11.27	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.11.28	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.12.5	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.12.8	K.A.氏	A社見学	本人、スタッフ、からびなスタッフ、A社担当
H26.12.12	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.12.16	M.D.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口担当
H26.12.19	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
H26.12.26	O.M.氏	S社訪問	本人、スタッフ、S社店長
レディース			
H26.4.15	N.S.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.7.7	K.Y.氏	ハローワーク札幌	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.7.22	K.Y.氏	ハローワーク札幌	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.7.25	K.Y.氏	W社	本人、スタッフ、W社担当
H26.9.3	N.S.氏	当事業所	本人、両親、スタッフ4名
H26.9.9	N.S.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.9.17	N.S.氏	ハローワーク札幌北	本人、スタッフ、窓口スタッフ
H26.9.24	N.S.氏	ハローワーク札幌北	本人、両親、スタッフ、北大病院玉川MSW、たすくスタッフ、窓口スタッフ
H26.10.15	N.S.氏	障害者職業センターガイダンス	本人、両親、スタッフ、たすくスタッフ、職業カウンセラー
H26.12.3	N.S.氏	障害者職業センター	本人、両親、スタッフ、たすくスタッフ、ハローワーク北窓口担当、職業カウンセラー

(2) その他、連絡（電話・ファックスなど）の件数

当事者名	ハローワーク	障害者職業センター	就業・生活相談室	その他
O.M.氏	2			3
K.A.氏	10		23	4
M.D.氏	3	6	5	1
K.D.氏		7		18
I.H.氏	11			10
T.C.氏		1	1	3
Y.M.氏			3	
N.S.氏	3	2		2

K.Y.氏	1		3
-------	---	--	---

(3) 就職セミナー

実施日	内容	参加者
H26.4.23	発声練習、年間計画、求人検索	10名
H26.5.28	発声練習、活動報告、求人検索	11名
H26.6.11	事業所見学	7名
H26.7.23	発声練習、事業所見学振り返り、求人検索	8名
H26.8.20	求人検索	8名
H26.9.24	事業所見学	6名
H26.10.28	障害者集団面接会	3名
H26.11.19	面接会振り返り、求人検索	9名
H26.12.24	発声練習、求人検索	8名

2. 支援計画の作成と評価

(1) クラブハウス

作成実績	就労準備支援（新規就労）対象者：15名、就労継続支援者：10名に対し、支援計画を作成
評価内容	新規就労者2名（一般就労2名） 転職相談1名（その後就職）、B型事業所に転出1名、就労移行事業所に転出1名 就労継続支援9名、引き続き就労準備支援11名

(2) レディース

作成実績	就労準備支援（新規就労）対象者：6名、就労継続支援者：2名に対し、支援計画を作成
評価内容	新規就労者1名（一般就労1名） B型事業所に転出1名 就労継続支援3名、引き続き就労準備支援4名

3. 支援ネットワーク

就労支援機関	障害者職業センター
	障害者職業総合センター
	ハローワーク札幌
	ハローワーク札幌北
	ハローワーク札幌東
	就業・生活相談センターたすく
	就労・生活相談室からびな
相談支援事業所	相談室みなみ
	相談室ノック
	相談室まるく（江別市）

医療機関	北海道大学病院
	大谷地病院
	麻生脳神経外科病院
	掛川クリニック
	中村記念病院
障害者自立支援事業所ほか	あっぷるミント（就労継続支援 B 型）
	わらべ家（就労継続支援 B 型）
	アクア（就労継続支援 A 型）
	エコワーク（就労移行、江別）
	地域生活支援センターせらび（恵庭市）
保健所	倶知安保健所
	千歳保健所
	富良野保健所
	恵庭市保健センター

4. 講習、研修会への協力

- (1) 倶知安保健所主催高次脳機能障害ネットワーク会議参加
平成 26 年 10 月 16 日
- (2) 北海道大学医学部保健学科にて講義
平成 26 年 10 月 21 日
- (3) 千歳保健所主催高次脳機能障害講習会にて講義、相談会参加
平成 26 年 11 月 30 日
- (4) 富良野保健所主催高次脳機能障害支援ネットワーク会議、相談会参加
平成 27 年 1 月 30 日（予定）

その他：

- ・職業リハビリテーション学会参加（平成 26 年 8 月 28～29 日）
- ・障害者職業総合センター発行「高次脳機能障害者の働き方の現状と今後の支援のあり方に関する研究」に寄稿
- ・日本脳外傷友の会 15 周年記念出版物に寄稿（予定）

5. その他

相談室コロポックルの実績

	9月	10月	11月	12月
件数	16	22	26	33
延べ	28	46	57	89

計画相談対象：17件（1/14時点で支援中の方）

今後、クラブハウスのメンバーから10数件が加わる予想。

高次脳機能障害の他、知的障害、発達障害、視覚障害、慢性関節リウマチなどのケースに対し、相談に応じている。特に11月以降、高等養護学校の卒業生の進路に関する計画依頼が目立った。

クラブハウスの利用者に対する計画相談の他、他事業所（就労継続支援A型、B型、移行支援）等に転出した人たちに対する計画相談も行っている。

1. 支援プログラムの実施状況

(1) 支援の対象者

	年齢	現在	性別	受傷原因	受傷後経過期間
1	18才	高等養護3年	男	脳外傷	11年
2	19才	大1	女	脳外傷	12年
3	12才	小6	男	脳外傷	7年
4	20才	大学2年	男	脳外傷	9年
5	15才	中3	女	インフルエンザ脳症	13年
6	16才	中3	男	髄膜炎	13年
7	13才	中2	女	低酸素脳症	13年
8	14才	中2	男	脳外傷	6年
9	18才	フリースクール	男	脳外傷	17年
10	17才	高2	男	インフルエンザ脳症	5年
11	16才	高2	男	脳外傷	7年
12	7才	小2	男	脳外傷	4年
13	15才	中3	男	脳外傷	10年
14	14才	中2	女	脳脊髄炎	4年
15	15才	高等養護1年	男	脳炎	3年
16	12才	中1	女	心臓疾患	12年
17	15才	高1	男	脳外傷	4年
18	13才	中2	男	脳外傷	4年
19	19才	高2	男	脳疾患	4年
20	9才	小3	男	脳外傷	半年
21	17才	高校生	女	ワクチン副反応	2年
22	13才	中1	男	脳震盪	1年

*前年度から引き続き支援をしている方 17名

*平成25年度新たに支援をした方 5名

(2) 相談件数

	種別	回数
相談・支援方法	来所	8
	電話	18
	メール・郵便	9
	同行	2
支援内容	学校・進路など	18
	対応について	7
	親の会(家族会)について	5

支援内容	医療について	6
	その他	9

2 支援計画の作成と評価

作成実績	進学後の進路で1名の支援計画を作成
評価内容	<p>中学入学を控え、情報収集、見学などを進めるための支援計画を作成。</p> <p>評価：①小学校の2者面談に同行。今後のタイムスケジュールを確認。②本人、保護者が近隣の2校を見学。③再度2者面談に同席し、見学の結果をふまえて、問題点を整理し進学先を決める（予定）。</p>

3 支援ネットワーク

機関名
苫小牧保健所
帯広保健所
北海道特別支援教育センター
心のリカバリー総合支援センター
長崎県高次脳機能障害支援センター
千葉リハビリテーションセンター
国立リハビリテーションセンター
清水法律事務所
日本脳外傷友の会キッズネットワーク

4 講習、研修会への協力

(1) 苫小牧保健所主催「家族のつどい」参加

平成26年9月16日

(2) 北星学園大学社会福祉学部にて講義

平成27年1月14日

その他：

- ・千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援アドバイザー編著「わかってくれるかな、子どもの高次脳機能障害支援」に寄稿
- ・日本脳外傷友の会発行「家族が突然、高次の機能障害になった 子どもの作文集」に編集協力

5 その他

(1) 学齢期の親の会開催

平成26年4月19日 参加：家族4人 託児：3人 託児スタッフ：3人

(2) 学齡期の親の会「ジュニア部会」開催

平成 26 年 6 月 9 日 参加：家族 4 人

(3) 日本脳外傷友の会キッズネットワークサマーキャンプ

平成 26 年 8 月 1 日～2 日 1 家族(3 人)とともに参加

(4)新規相談で、子宮頸がんワクチン副反応により、高次脳機能障害の症状が出た方からのものがあつた。3 回目のワクチン接種後 1 年 4 か月経過してから重症化したため、なかなかワクチンの副反応と気づくことが出来なかつた。

(1) 高次脳機能障がい者に対する【授産事業所利用】支援のあり方について

①当法人における高次脳機能障がい者への支援について

当事者・家族を取り巻く生活のしづらさを解消するために、法人内での相談支援を実施していることに加え、必要に応じて医療機関や保健所、就労支援機関、行政や地域の相談支援事業所、他の障害福祉サービス事業所等の関係機関と連絡・調整を図る事で、包括的な対応を行っている。

②授産事業の取り組みについて

当法人が運営する就労継続支援B型事業所の主な授産事業は、

- ①授産製品（石けん、お菓子）の作成・販売
- ②企業などからの受託業務（施設内、施設外）
- ③地域イベント等での販売

等に取り組んでいる。

26年度については、

- ①授産製品の製品力・販売力向上のため「北海道授産製品磨き上げ支援事業」（感動いちばが北海道より受託）と連携し、商品・パッケージの一部改良、販売研修の機会を通し、売上アップとともに他の授産事業所とのネットワーク作りに繋がっている。
- ②企業が取りくんでいるコンソーシアム事業（1村1エネ事業）に共同参画し、週2回、札幌市内で施設外就労活動に取り組んでいる。
また、他の企業からの受託作業については、短納期、大量発注される場合があるため、その場合には利用者個々の同意のもと早出、残業、休日出勤を行う場合がある。正確に素早く仕事を行うことで、企業からの信頼を得て、更なる受託事業の拡充に結びついている。
- ③地域のお祭りや各種イベント活動で自主製品等の販売を行っている。

これらの授産活動は、スタッフの支援のもと、高次脳機能障がいの施設利用者を中心に精力的な取り組みを行っている。

授産事業所利用者に対する工賃支給額は平成26年度4月～12月実績において、

利用者全体の平均工賃額	19,924円
このうち高次脳機能障害者の平均工賃額	25,624円
（参考）北海道の授産事業所平均工賃額	18,531円（25年度）

となっている。

これらの生産活動をとおり、通所することによる生活リズムの確立、就労意欲の促進、工賃アップによる充実感が得られている。

③高次脳機能障がい者が苦手とする周囲とのコミュニケーションについて

「絵本の読み語り」を毎週1度実施し、地域ボランティアの協力のもと、1冊の絵本をとおり、利用者個々の感じ方や捉え方は違っていてもいい、自分の言葉で話すことでお互いのコミュニケーションが成り立つことが出来るように進めている。

この活動は今年6月で満10年を迎える。10年間の成果として、記憶の回復、集中力、表現力、想像の向上がみられている。

時には、作家、画家、編集者も来訪され、読み語りの奥深さ、自由さに驚き、惚れ込み、そのことを発信されている。

今年6月の10周年に向けて、「絵本の読み語り」活動の記録を本にまとめる準備を進めている。高次脳機能障がいを含めたあらゆる障がい者支援方法の1つとして、活用され啓発につなげていきたい。

(2) これまでの【授産事業所利用】支援対象者について

当事業所の利用者に対し、地域社会で自立した生活を行えるよう、個々が抱える病気や問題等を解決できるよう、支援計画に基づき生産活動や作業、コミュニケーション能力等の向上を図るための活動を実施した。

また、当事業所利用者以外からの相談にも随時対応した。

【支援の実施状況】 (平成26年4月1日～平成26年12月31日まで)

(通所者の状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所者	12名	12名	11名	11名	11名	11名	11名	11名	10名			
実施日数	22日	21日	22日	23日	22日	21日	22日	21日	22日			
延べ日数	231日	210日	211日	235日	189日	189日	200日	196日	205日			
1日平均利用者数	10.5人	10.0人	9.5人	10.2人	8.6人	9.0人	9.1人	9.3人	9.3人			

(通所者年齢構成)

～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	合計
1名	3名	4名	1名	3名	12名

(相談支援件数)

電話	来所	メール	合計
29件	20件	9件	58件

(相談内容内訳) ※一部重複あり

相談支援	施設紹介・見学	情報交換等
25件	9件	25件

▲この他、利用者と家族（1組）とは毎月1回、個別面談を実施。

(主な相談対象経路)

- ・ 事業所利用者および家族
- ・ 利用者以外の当事者・家族
- ・ 支援拠点機関
- ・ 医療機関
- ・ 相談支援事業所、就業・生活支援センター
- ・ 行政機関（保健所を含む）
- ・ 他の障害福祉サービス事業所

(3) 【授産事業所利用】支援担当会議について

(4) 【授産事業所利用】支援計画について

利用者12名に対して、本人及び家族の意向をもとに個別に応じた支援計画の原案を作成し、その後支援担当者会議にて話し合いのうえ、支援計画の提供を実施している。

実施に当たっては、毎朝のスタッフミーティングの中で利用者に関する状況や対応や支援した内容を話し合い、1か月に1度担当者会議の中で利用者1～3名の支援計画の見直しが必要かどうか図っている。

また、必要に応じて家族や医療機関、相談支援事業所、福祉事業所等、学校等と連携を図り、ケース会議を実施した。

(支援担当者会議の実施状況)

日時	参加者	日時	参加者
4月16日	4名	9月17日	4名
5月14日	4名	10月15日	4名
6月18日	4名	11月19日	4名
7月9日	4名	12月10日	4名
8月27日	4名		

(関係機関を交えたケース会議)

日時	場所	参加者	会議内容
10月29日	北大	当事者、 スタッフ2名 北大2名 就労A型施設職員3名	施設利用者が就労A型に施設替えを行ったあと、医療面を含めた支援内容及びA型事業所での様子を話し合う

(5) 当事者・家族に対する【授産事業所利用】支援調整の方法について

当事者及び家族に対しては、随時相談に応じながら必要な場合に当事者・家族の同意を得たうえで各関係機関に相談や紹介等の連絡等を行っている。

(支援C○、慢性疾患看護専門看護師出席)

(当事者・家族会の実施)

	開催日時	内容等
1回目	平成26年9月20日	当事者・家族別にグループ分け。 当事者グループは質疑応答を実施。 家族グループは日常の困りごとを話し合う。

■聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科 高山望さんより、在宅の高次脳機能障害当事者・家族を対象に、生活支援プログラムの開発という主旨の研究を実施。Re～らぶでは、当事者・家族の同意のもと、この研究に参加協力してきた。

	開催日時	内容等
1回目	7月10日	講座「自己への気づき」 高山 望
2回目	8月21日	講座「高次脳機能障害における診断・治療」 医師 大槻美加
3回目	9月11日	講座「生活訓練」 作業療法士 小川圭太
4回目	9月25日	講座「対人関係・コミュニケーション」 言語帳学士 大澤恵留美
5回目	10月2日	集団「自己の目標と対策発表会」
6回目	10月16日	集団「気づきのワークショップ」
7回目	10月30日	集団「確認のロールプレイ」
8回目	11月13日	集団「評価発表会」

(6) 【授産事業所利用】支援ネットワークを構築するための関係機関の選定や方法について

医療機関や行政、就労支援関係や相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所等の関係機関と今まで包括的な連携を実施してきたが、今年度は新たに就労や工賃アップに向けた取り組みを一般企業等とも連携して取り組んでいる。

(支援拠点機関との支援ネットワーク)

関係機関名	情報交換内容等
北海道大学病院リハビリテーション科	北海道における高次脳機能障がい者の医療に関する相談・助言を頂くとともに、施設利用者の日常生活上で見られた症状等の情報交換を恒常的に実施。

(相談支援事業所等との支援ネットワーク)

関係機関名	情報交換内容等
相談室すきっぷ、宮の沢脳神経外科病院	病気による休職中の当事者の職場復帰に向け、休職期間中の利用相談を受け、サービス利用手続きに向けた取り組みを随時連携のうえ、実施している。
相談室きよサポ	病気による当事者の利用相談を受ける。 打ち合わせや体験実習などを実施したが、利用には結びつかなかったものの、今後も相談があれば対応していくことを双方で確認。
おたる相談支援センター	施設利用者の計画相談作成のため、2～3か月に1度来所され、本人や職員との面談を実施。高次脳機能障がいに関する相談や情報交換等を行っている。

(他の障害福祉事業所との支援ネットワーク)

関係機関名	情報交換内容等
リハビリークリーナース(就労A・B)	支援拠点機関からの入所紹介を受け、どのような支援のあり方が良いか相談を受け、当法人での取り組みを説明し、必要時において支援拠点機関と連絡・調整を図る等の対応を実施。

(障害福祉団体との支援ネットワーク)

関係機関名	情報交換内容等
きょうされん(北海道支部)	障害当事者が中心の全国組織において関係者が定期的に集い、障害福祉を取り巻く課題を抽出し、行政に働きかける活動を実施。その中の構成員として参加し、高次脳機能障がい者の実情と支援活動内容を伝えることによって周知され、他機関からの相談に結びついている。

(一般就労に関する支援ネットワーク)

関係機関名	情報交換内容等
障害者職業センター・北海道労働局	施設利用者の一般就労に向け、障害者職業センターでガイダンスを受け、企業内実習に向け、北海道労働局から情報をいただくことで、実習に向けた取り組みを進めている。

(一般企業との施設外就労や工賃アップに向けたネットワーク)

関係機関名	情報交換内容等
株式会社どりーむ、石狩市、株式会社北清企業	札幌市内にある一般家庭から持ち込まれた廃油回収ボックス内の廃油を回収し、工場へ運び回収器に廃油を流し込む作業の依頼を受ける。
	このプロジェクトは、北海道が取り進めている「1村1エネ事業」に左記の関係機関が、コンソーシアム事業と言う形で委託を受ける。
	現在は、週2回(このうちコンソーシアム事業としては週1回)、
	高次脳機能障がい施設利用者3名が、施設外での就労に携わっている。
札幌市環境局、アウトソーシングセンター元気ジョブ	米里地区にあるごみ埋め立て場跡地に「札幌市菜の花ものがたり」プロジェクトの実施。
	菜種の種まきから追肥、それと収穫した菜種を精油する作業を仕事として請け負い、利用者3～5名が作業に携わる。

(7) 【授産事業所利用】に関する支援技術について

高次脳機能障がいへの理解促進及び授産事業所利用に関する支援方法等について、当法人の活動実践を通して以下の場所で報告してきた。

また、高次脳機能障がいに関する研修会を企画・開催すると共に、法人の活動や高次脳機能障がいについて啓蒙・啓発活動を実施した。

●講演会等での事例発表

・平成26年9月18日

北海道大学病院リハビリテーション科内集団訓練

「就労継続支援B型の位置づけとRe～らぶにおける取り組み」

・平成26年11月8日

第12回北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会

「社会的行動障害～事業所の立場から～」

当法人事業所利用者の事例と支援方法について

平成 26 年度 リハビリ提供・地域生活支援事業 中間報告

公益財団法人 北海道精神保健推進協会
こころのリカバリー総合支援センター

●利用者の状況

- ・今年度の利用登録者数：26名（平成26年4月～12月末）
- ・終了者数：1名（事業所へ移行のため）
- ・新規通所：3名
 - ① 30代男性：H26.3に当センター見学。4月から通所開始。
 - ② 20代女性：H26.8に当センター見学。10月から通所開始。
 - ③ 10代男性：H26.11に当センター見学。12月から通所開始。
- ・通所調整中：1名（50代男性）

●当施設で行っている支援

【当事者への支援】

- ・グループを活用した社会性のリハビリテーション（自信の回復、意欲、活動性の向上、障害への気づき・理解、対処の工夫など）
- ・仲間作り
- ・個々の利用者にあった社会参加を検討、支援（家族を含めた面接、本人に係る他機関と支援者のつながりなど）
- ・個別の問題に対応する治療的プログラム（コミュニケーショントレーニングなど）を実施、必要な利用者への働きかけ
- ・当事者、家族に対しての学習会の機会
- ・心理教育：高次脳機能障害をテーマに当事者、家族、スタッフによる20名ほどのグループで4回1クールで実施した。
- ・体調や今後の生活についての相談対応

【家族支援】

- ・心理教育：高次脳機能障害をテーマに当事者、家族、スタッフによる20名ほどのグループで4回1クールで実施した。
- ・定期的な家族当事者合同面接 その他相談面接 家族の集まり等

【支援関係者への支援】

- ・医療機関として、関係機関とのケース検討や支援者へのスーパービジョンなど

●他機関との連携

- 連携先：リハ病院SW、精神科病院SW、市町村保健師、ケアマネージャー、事業所等関係機関職員等
- ・通所利用者に係る連携（情報提供、ケース検討等）
 - ・利用検討に係る相談、問い合わせ
 - ・利用可能な資源についての問い合わせ
 - ・関係機関より当施設のリハビリ内容の問い合わせ等

●今年度の取り組み

- ・それぞれのリハビリ目標に応じて、家庭訪問も積極的に行った。
- ・復学に向けての調整を関係機関と行った。
- ・心理教育プログラムを始めた。当事者、家族、スタッフを含めた約 20 名のクローズのグループで、講義とグループワークのセッションを行った。
- ・9月に行われたデイケア学会で、高次脳機能障害のケースについて発表した。
- ・11月に行われた北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会の実行委員会事務局として運営した。
- ・5月、8月、12月に行われた、高次脳機能障害実践的アプローチ講習会に参加した。

<高次脳機能障害リハビリテーション講習会について>

日時：2014年11月8日（土） 13:30～16:30

場所：北海道大学学術交流会館 講堂

テーマ：社会的行動障害について

概要：・講義 「社会的行動障害」について

講師 横浜市総合リハビリテーションセンター 臨床心理士 山口 加代子 氏

・シンポジウム

<話題提供>

～家族会の立場から・事業所の立場から・医療の立場から～

<指定発言>

指定発言者 ・横浜市総合リハビリテーションセンター 臨床心理士 山口 加代子 氏

・清水法律事務所 弁護士 清水 智 氏

●今後の課題

- ・複数の支援機関での情報共有システム作りの難しさ
- ・事業所を含む就労支援において課題の共有の難しさや受け入れ機関の確保の難しさ
- ・社会的行動障害の方に対するリハビリテーションの確立の難しさ
- ・体系化された家族支援の構築
- ・心理教育の継続とやり方についての検討

※心理教育とは

<対象>精神障害やエイズなど、受容しにくい問題を持つ人たち

<方法 1>正しい知識や情報を心理面への十分な配慮をしながら伝える（講義）

<方法 2>病気や障害の結果もたらされる諸問題・諸困難に対する対処方法を習得してもらう（GW）

<目標>主体的に療養生活を営めるよう援助する方法

平成26度高次脳機能障害者支援事業「普及啓発支援事業」実績（平成26年12月末現在）

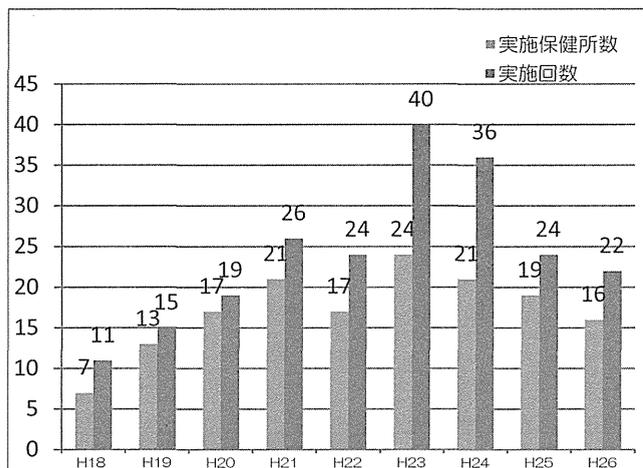
保健所別	普及啓発		関係職員研修		連携会議		事例検討		相談		新規	専門相談		集団指導				訪問指導		その他	
	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実人数	延人数		件数	実施回数	相談件数	当事者の集い		家族の会		実人数		延人数
											実施回数				延参加者数	実施回数	延参加者数				
江別			9/4	41					1	1	1										
千歳	11/26	43	11/26	43					3	4	2			1	4	1	11	1	1		
渡島			11/25~27	116	27.2				5	6	4	4	2					4	7		
八雲			27.3		27.3				3	6	1	1	1								
江差					3/4	15			3	4	0	1	1			2	1	4	4		相談会と同日に家族交流会を開催
倶知安			10/16	28	10/16	28	10/16	33	6	17	4					1	6	2	4		OHP、パンフレットに相談対応掲載○就労支援事業所と打ち合わせ実施○家族学習会での要望により家族同士が自主的に交流するため名簿作成、情報提供実施
岩内																					
岩見沢					7/24	20			9	93	2			6	16	6	23	6	8		
滝川			9/2 11/1 9	70	7/11 2/4	9			6	19	1					4	12	1	2		○滝川市立図書館へ展示コーナー設置○中空知保健医療福祉圏域連携推進会議精神疾患医療専門部会で支援の実績報告及び協議○滝川市精神ケア会議における支援事業周知○中空知高次脳機能障がい者支援コンサルテーション事業
深川									1	3	1							3	4		普及啓発の必要性を伝えひな形を市町広報へ掲載
上川	10/4	82	27.3	100	11/7	24	4/21	11	2	2	2	1	1					1	1		上川中部市町、高次脳機能障がいにかかる医療機関及び家族会を対象とした相談機関、医療機関への調査・公表（調査結果をHPで公表）
名寄	10/11	40			5/28、9/17 12/3、3/11	32	9/2 3/3	3	2	3	1							3	10		
富良野	1/30				1/30				3	13	1	1						1	2		講演会でのリーフレット配布による相談窓口の周知
留萌									1	2	0					2	12	1	1		
稚内																					管内医療機関に支援状況（診療、リハビリ、相談支援等）のアンケート調査を実施し、結果をもとに聞き取り調査を実施。
室蘭	12/5	18	7/16	58	2/12				9	15	8			3	13	3	19	4	31		
苫小牧			2/19		2/19				17	49	9			4	4	4	6	4	6		
浦河	11/13	36	11/13	14	11/13	26			3	4	1					1	3	6	9		高次脳機能障がい者地域生活実態把握調査を実施（本人、家族、支援者へインタビュー調査を実施し継続支援の必要性について把握できた。新規の相談もあり継続支援につながっている。）
静内									1	3								1	11		
網走																					障がいの普及啓発及び相談窓口の周知目的にリーフレット作成し配布。
北見							8/1	7	3	5						1	2	1	1		リーフレット再配布、支援する会の自主化支援
紋別									4	27								1	4		①普及啓発リーフレット作成・配布②自立支援医療システム情報把握③ケア会議
帯広	10/4	84	9/18 11/19	32	12/10 3/5	22			6	11	2			8	52	1	10	3	4		コロポックル道東支部事業への協力
釧路	11/15	100					3回開催		7	7	5							2	3		①自主組織への支援②脳外傷リハビリテーション講習会in釧路実行委員会
根室			8/22	56					1	6	1							1	1		
中標津	8/22	51	8/22	42					1	4								2	2		
概要	26保健所のうち16保健所で、延22回の実施。一般住民や支援関係者に対し、啓発普及の講演や研修を実施している。				連携会議実施13保健所18回、事例検討会実施5保健所8回実施。いずれか実施15ヶ所。				相談は23保健所で実97人延304人、訪問指導は22保健所で実52人延116人を実施。				当事者や家族に対し、小集団の形で主催支援は11保健所で実施								

高次脳機能障がい者支援事業

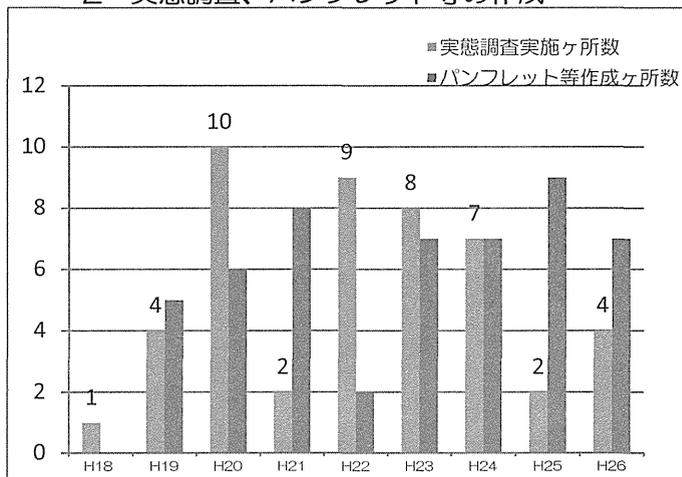
「普及啓発相談支援事業」の実績推移（H18年度～H26年度）

平成18年度から平成26年度の9年間の道立保健所における「普及啓発相談支援事業」の実施状況を下図に整理した。（平成26年度は12月末時点）

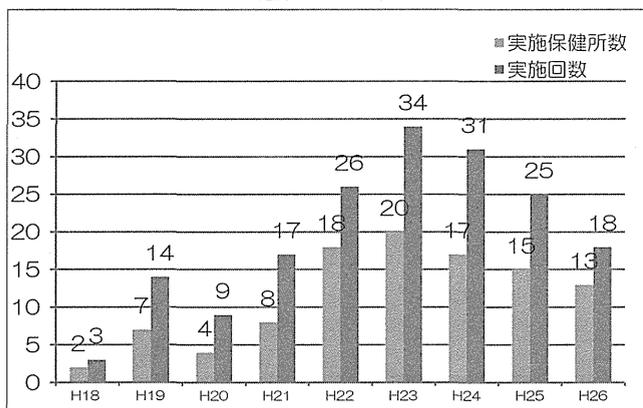
1 講演会及び研修会実施状況



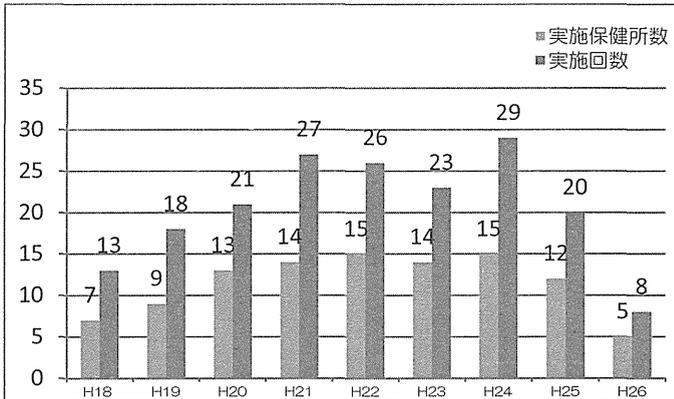
2 実態調査、パンフレット等の作成



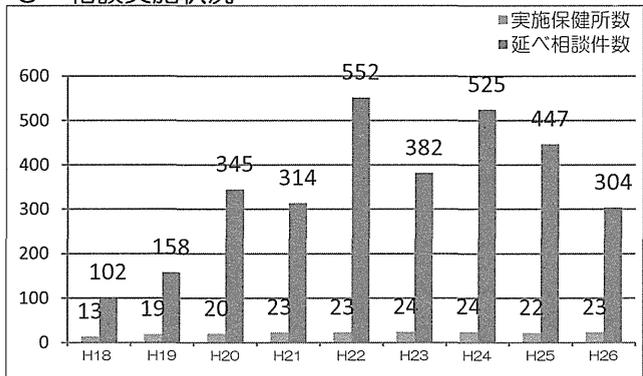
3 ネットワーク会議の実施状況



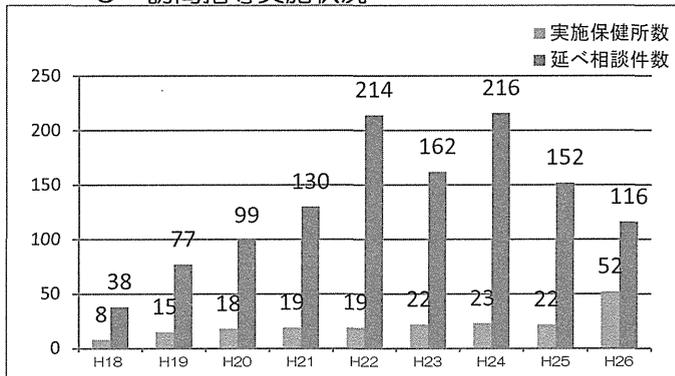
4 事例検討会の実施状況



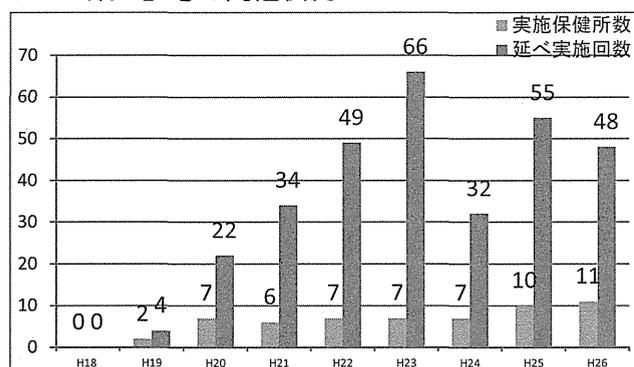
5 相談実施状況



6 訪問指導実施状況



7 「集い」等の開催状況



※研修や会議等、複数保健所による合同開催の場合は、実施回数は各保健所の実施回数として合算し計上。